

## (2) 土地利用

本地域の土地利用は、住宅地と教育機関などの公共施設や商業・業務施設などが多くみられる。全体に低層住宅が中部から東部にかけて多く、西部では中高層住宅がやや多く分布している。

業務施設は大小様々な規模のものが東部や西部などに分布し、北部の一部などには工業施設がみられる。

学校などの公共施設は中部から南部などに、公園は各所に小規模なものが点在している。

## (3) 道路網

本地域の広域幹線道路は、中央を東西方向に大阪内環状線が通っている。西側を大阪高槻京都線が通っている。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、東部や南部の一部にみられる。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向がしにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、中部や北部などにみられる。

## 2-4. 災害予測等

### (1) 水害予測

#### ① 淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は4m～5.5mで、3m～4mの区域は、中部や東部などに広くみられ、北部の一部は2m～3mの浸水深となっている。

収容避難所である新庄小学校、北陽高校は、この図によれば、2階まで浸水す

図 土地利用図



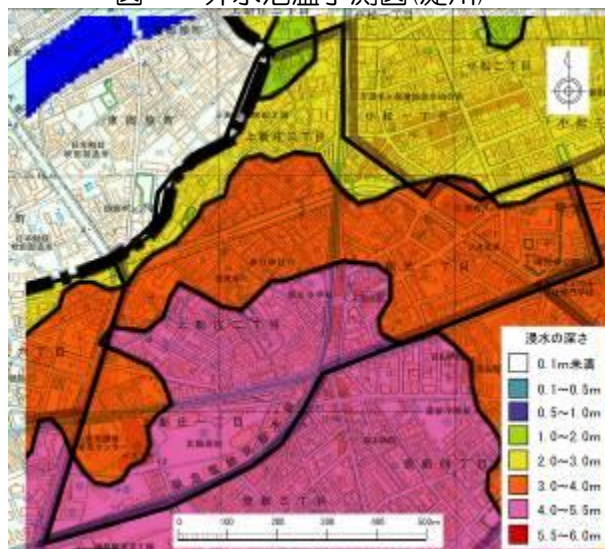
資料) 国土地理院

図 道路網図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

図 外水氾濫予測図(淀川)



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

る予測となっている。

### ②神崎川・安威川 外水氾濫

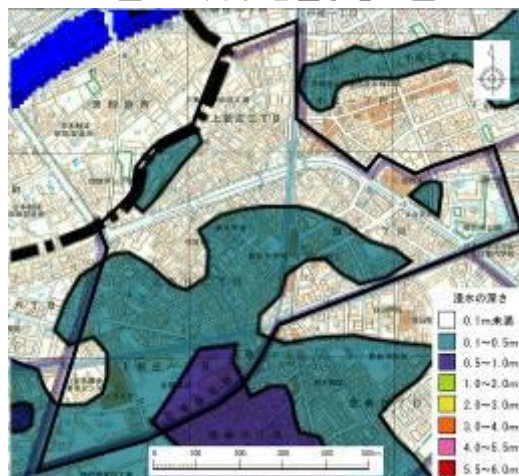
神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、本地域は、中部以南で、1m～2mの浸水が発生する予測となっている。

### ③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.5m～1mの浸水深が、南部から中部にかけての一部にみられる。

新庄小学校、北陽高等学校は1階も浸水しない予測となっている。

図 内水氾濫予想区図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

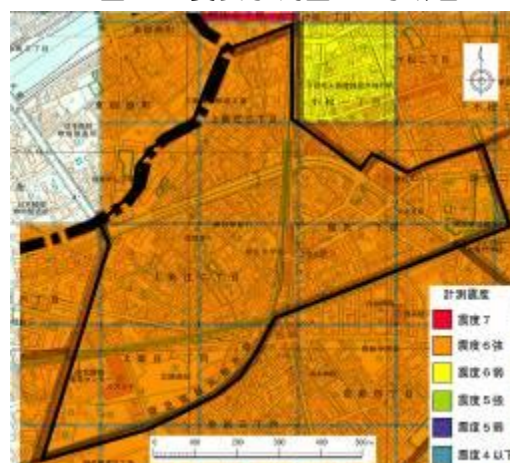
## (2)地震予測

### ①震度予測

上町断層が活動した時の震度予測は、震度予測図によれば、本地域は全域が震度6強の激しい揺れが発生するものと予測されている。



図 震度予測図(上町断層)



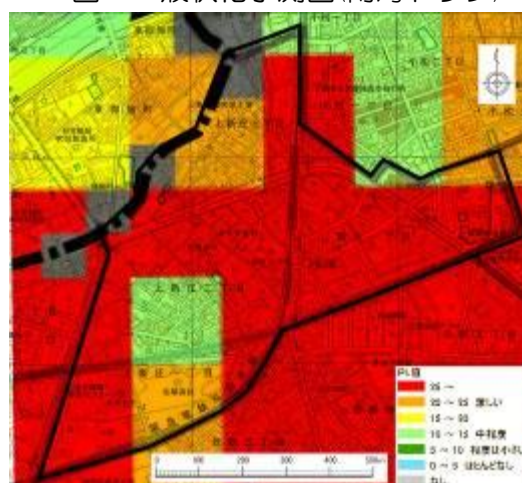
資料) 大阪市

### ②液状化

地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

本地域の液状化の危険性は、中部、東部で高く、発生しやすい地区がみられ、全般に液状化の危険性が高い傾向にある。

図 液状化予測図(南海トラフ)



資料) 大阪府